



Meito 1年進路だより

2024/01/25

No.07

名古屋市立名東高等学校進路部

1年生のみなさん、こんにちは。令和6年能登半島地震により厳しい環境にいる受験生もいるなか、1月13日(土)・14日(日)、4回目となる「共通テスト」が実施されました。3年生はいま、共通テストの自己採点をもとに、国公立大学の出願の準備をしたり、2月から始まる私立大入試や国公立大の個別試験(2次試験)に向けて努力を重ねたりしています。2年後はみなさんが「受験生」です。とりあえずいまは、名東高校をリードしていく2年生になる準備をすすめていきましょう。



◇◇◇ 2024年「共通テスト」結果速報! ◇◇◇

先日行われた「共通テスト」の自己採点の結果を、以下に簡単に紹介します。

		名東生平均	名東生最高点	河合塾平均			名東生平均	名東生最高点	河合塾平均
外国語	英語リーディング				公民	現代社会			
						倫理			
国語	現代文					政治経済			
	古文				倫理・政治経済				
	漢文				理科	物理			
数学	数I					化学			
	数I・A					生物			
	数II					地学			
	数II・B					物理基礎(50点)			
						化学基礎(50点)			
						生物基礎(50点)			
					地学基礎(50点)				
地歴	世界史B				総合型	理系5-7型(900点)			
	日本史B					文系5-7型(900点)			
	地理B					5-6型(800点)			

(注) 名東生データは1月15日(月)集計分。河合塾平均は河合塾共通テストリサーチのデータ。

SNS等で量が多く難化が予想された「リーディング」は、下位層でダウン幅が小さかったために昨年より-2点にとどまりました。また、今年の共通テストにおいては、得点調整を行わないことが決定されました(1月19日)。

上の表を見ると、名東生は日ごろの努力の結果、ほとんどの科目で、全国平均を大きく上回る得点をとることができました。そのため、名大や名市大など、共通テストありの推薦入試を受ける生徒も昨年に比べ大幅に増えました。また、難関国公立大学は個別試験(2次試験)が勝負ですので、気を抜かず、実力を発揮してほしいと願っています。

■減り続ける志願者数－競争緩和の入試環境

共通テストの確定志願者数は491,914人（前年512,581人）で、20,667人減少（前年比96%）しました。志願者数が50万人を下回るのは、センター試験3年目の1992年度以来32年ぶりとなります。志願者数の内訳をみると、現役生は419,534人（前年436,873人）で前年度比17,339人減少（前年比96%）し、志願者数全体に占める現役生の割合は85%と過去最高となりました。

一方、既卒生等は72,380人（前年75,708人）と3,328人減少（前年比96%）し、昨年同様、現役生中心の入試となりました。大学入試は、ここ数年、急速に競争緩和しているので、志望する大学にチャレンジできる学力を身につけよう。

■共通テストにどう向き合うか－河合塾の分析より

共通テストに向けて、どのような力が求められるのでしょうか。

「共通テストでは、単なる知識問題ではなく、知識を活用して運用する力、図表やグラフを分析して読み解く力、長めの文書や多くの資料を時間内に読み込んで正確に理解する力が必要となる。

日頃の学習から教科書に出てくるような標準的な知識・項目をしっかりと身に付けること。考えることを意識しながら学習をする癖、習慣を身に付けておくと良い。

受験学年になったら、共通テストはもちろんセンター試験時代を含めた過去問に多く取り組み、限られた時間内に問題を解く練習を積んでおくことが有効な対策になる。まずは、教科書に載っている基本的な知識の習得や解法、公式の使い方などをしっかりと身に付けておいてほしい。

ただ、それらの知識や公式・解法などを単に暗記していればすんなり問題が解ける訳ではなく、なぜそうなるのかという本質的な理解の上で、様々な出題に対応できる「知識を活用する力、使いこなす力」が必要である」と河合塾は分析しています。

■いまできることは何か？

受験を終えた名東高の卒業生は次のように語っています。先を見据えて努力を重ねよう。

先輩からのメッセージ～『合格体験記 2021』より～

■僕が大学受験を通して思ったのは、ゴールを先に知っておくことが大切だということです。……2次試験の過去問を解き始めるのを遅らせて、すごく苦労しました。なので、これから受験を迎えるみなさんは、自分の行きたい大学の過去問を早いうちから解いておくことをおすすめします。解けなくてもいいので、本番はこのレベルの問題が出るんだ、じゃあ逆算してこの時期までにここまで出来るようにしよう、などというように先を見据えた上で自分の取り組むべきことを決めるといいと思います。（理系の生徒）

◇◇◇ 大学入試までの流れを知ろう！ ◇◇◇

入試の流れと、その時期の先輩たちの学習状況などをあわせて把握し、より具体的に自分が受験生になったときの動きをイメージしましょう。また、**今できる!**の欄については、いまのうちから積極的に取り組んでいきましょう。

時期	流れ・先輩たちの学習状況など	今できる！・補足情報など	
1 年 生	3 学 期 ～ 1 学 期	<p>今できる!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を中心に、「予習→授業→復習」のサイクルをつくろう！ ・3月は次年度の準備等による午前授業日や春休みなど、自習の時間が増えます。1年生で学習した内容を見直し（とくに英語・数学・国語）、苦手分野を克服しよう！ ・平日でも学年+1時間以上の学習時間の確保を目指そう！ 	
	夏 休 み	<p>オープンキャンパスに参加（7～8月） 夏季講座（7～8月）</p> <p>夏休みは、苦手克服のチャンスの時期。文化祭準備で忙しいけれど、先輩たちは、徹底的に復習を行い、基礎力の完成を目指しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の夏休みは受験勉強で忙しいので、2年の夏休みこそいろいろな大学のオープンキャンパスや大学説明会に参加しよう！ ・学校の夏季講座を受講して、弱点を補強しよう。 	
	2 学 期	<p>実力考査（9月上旬）、名東祭（9月中旬） 修学旅行（10月中・下旬） 全統高2模試（10月下旬）… 記述式</p> <p>2年生の秋は、文化祭・修学旅行で忙しいけれど、将来も見すえた科目選択の時期。先生や保護者、先輩にも相談しながら、決めた先輩が多いようです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行後の教科登録、全統高2模試をきっかけにして、そろそろ受験を意識しはじめよう！ ・科目選択をしたあとも、「不要な教科」はありません。理系の生徒も英語・国語、文系の生徒も数学をしっかり勉強して、逆にライバルに差をつける得点源にしよう！
2 年 生	3 学 期	<p>全統共テ高2模試（1月下旬）… マーク式</p> <p>受験まであと1年という時期。改めて気になる大学・学部研究をすすめたという先輩が多いようです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の3学期は3年0学期。1・2年生で学習した内容を見直し（とくに英語・数学・国語）、苦手分野を克服しよう！
3 年 生	1 学 期	<p>共通テスト模試①+記述模試①（5月） 入学者選抜要項発表</p> <p>新学期。部活動も引退の時期。1・2年生とは異なる学習環境が始まります。いいスタートが切れるよう、学校の授業を中心に毎日学習する習慣を身につけていました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に行われる模試から既卒生も参加してきます。はじめはなかなかいい判定は出ませんが、本格的な受験勉強ははじまったばかり。志望校をあきらめず、努力を重ねよう！ ・基礎固めをしっかりとり！



冒頭でも書いたように、2年生は学校をリードしていく存在です。分かりやすいのは、部活動でしょうか。多くの部活動で1学期に3年生が引退し、新入生が入ってきます。自分の練習もしなければなりません、新入生への指導という新しい仕事も新たに加わってきます。

一方、学習面では、どうでしょうか。英語・数学・国語では、より難易度の高いことを学びますし、理科や社会で入試に直結する科目の学習が始まります。さらに、現高2生からは教科「情報」も入試科目となり、名東高校では2年生で学習します。学習面でも、これまで以上に努力を重ねることが求められます。

また、3年生になると受験勉強で忙しくなるので、2年生のうちに興味・関心のある大学・学部を調べ、オープンキャンパスや研究室公開などのイベントに参加したいものです。

そう考えると、2年生はとても忙しいと思いませんか。だからこそ、学校の授業を大事にし（来年から55分×6時限がスタートします）、毎日コツコツ勉強するという当たり前のことを続けてほしい。そうすることで、みなさんの可能性が広がっていくのです。

Information

◆名市大×名東高 名市大連続講座、好評開催中！

2021年度から名古屋市立高校では名市大との交流を行っています。今年度は、「名市大連続講座」として人文社会学部の先生をお招きして講座を開講しています。「探究」を深めたい方、名市大で学びたい方など、みなさんの参加を、お待ちしております！

テーマ 貧困のなかで暮らす子どもたち・施設で暮らす子どもたち

日本における子どもの貧困の現状や何らかの事情により保護者とともに暮らすことのできない子どもの現状についてともに考えます。

*施設とは、児童養護施設や母子生活支援施設、里親などを指します。

講師 谷口 由紀子 先生（心理教育学科）

日時 2024年2月14日（水）16時～17時

会場 北4展

申込み 進路室で申込みを受付けています。

◆名市大×名東高 特別企画「名市大の学生と語ろう」！

進路部では、昨年度に引き続き、1・2年生を対象に表題の企画を予定しています。名市大の学生をお招きして、大学受験や大学生活、大学での研究などについてお話をうかがいたいと思っています。

日時は、学年末考査最終日の**3月8日（金）11時半～12時半**、会場は**社会科講義室**や**北4展**を予定しています。まもなく募集を開始します。名市大の学生さんの生の声を聞きたいというみなさんの積極的な参加をお待ちしています！

